

司馬遼太郎記念館での感想

増田 武司(登録会員)

三井V-Netの紹介で活動を始めて約2年半ほど経ちます。記念館での活動は、正門での来館者のお迎え、館入り口での入館券の回収、地下展示室での監視、園芸作業、カフェコーナー(有料)での来館者のおもてなしなどです。活動は午前の方、午後の方、終日活動する方などさまざまです。

私は終日の活動で入ります。終日ですと半日は正門、半日は展示室です。正門では来館者のお迎え、入館券の購入案内、そして初めて来館された方には、簡単に館内の説明をします。展示室では展示品に触れたりしていないか、館内は撮影禁止となっていますから、写真を撮ったりしていないかの監視をします。時折、写真を撮る方や、展示品に触れる方もあり、注意をさせていただくこともあります。

活動時間は各部所とも30分で次の方と交代します。そして30分の休憩となります。この時が結構楽しい時間で、備え置かれているコーヒー、紅茶、日本茶など片手に、旅行、スポーツ、園芸、趣味、時にはちょっとお硬い話等、取りとめのない話題で場が盛り上がります。

司馬先生は世に送り出す作品の構想、執筆に当たり、6万冊余りの蔵書を取り揃えられました。その内の2万冊が展示室に飾られています。この2万冊を見るだけでも圧倒されます。

司馬先生が世に送り出す作品は、いかに史実に忠実であるべきかという強い思いの表れだと感じます。飽くなき探究心と強い情熱、そして凄まじいまでの執念が素晴らしい作品を生み出すのでしょう。

司馬作品を読まれたことのない方、記念館を訪れたことのない方にご来館いただき、必見いただければ、何かを感じ、新たな出会いがあるやもしれません。こんなことをも思いながら、活動を続けています。

